

Nバス及びおでかけなんじいの利用状況について

令和2年6月

南 城 市

1 概況

- 再編前のおでかけなんじいは概ね1日当たり80人前後の方が利用していました。
- 再編後のNバス利用者は1日当たり約300～380人、「おでかけなんじい」は約60人となっており、あわせて約360～450人の方が利用しています。
- 新型コロナの影響により、2月以降は徐々に利用者数が減少、4月、5月の利用者数は約160～180人に減少しています。
- なお、幹線バス、Nバスは、4月下旬～5月下旬にかけ、平日を休日ダイヤで運行していました。

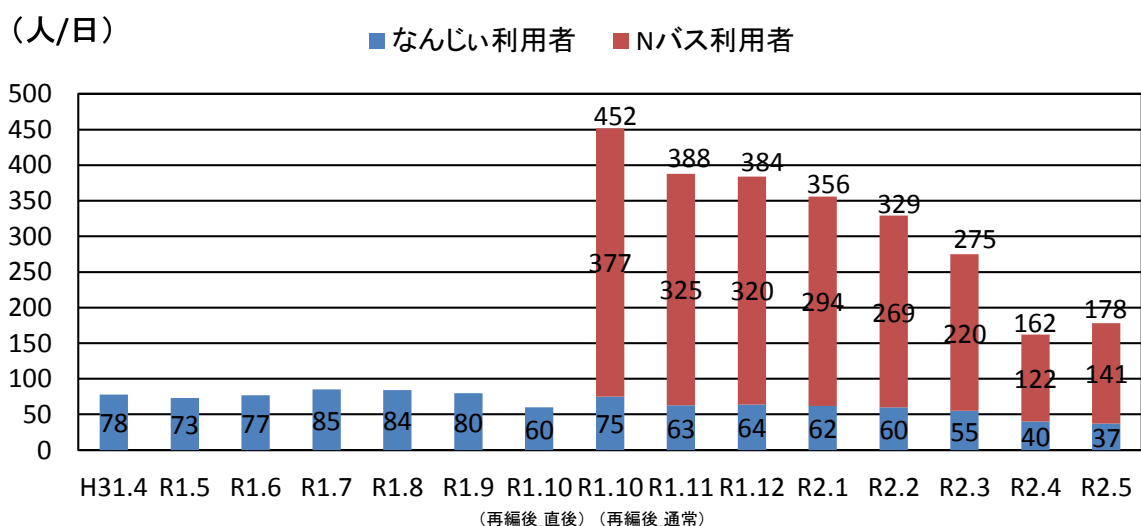


図-1.Nバス及びおでかけなんじいの利用状況の推移

表 1.新型コロナの影響による平日での休日ダイヤでの運行状況

区分	系統番号	路線名	運行事業者	休日ダイヤでの運行	備考
幹線バス	36	糸満新里線	沖縄バス	—	幹線補助路線
	37	那覇新開線	東陽バス	4/27(月)～5/20(水)	
	38	志喜屋線	東陽バス	4/27(月)～5/20(水)	
	39	百名線	沖縄バス	4/27(月)～5/20(水)	
	40	大里線	沖縄バス	4/27(月)～5/20(水)	
	41	つきしろの街線	沖縄バス	4/27(月)～5/20(水)	
	50	百名線(東風平経由)	琉球バス	4/27(月)～5/20(水)	
	51	百名線(船越経由)	琉球バス	—	幹線補助路線
	54	前川線	琉球バス	4/27(月)～5/20(水)	
	81	西崎向陽高校線	琉球バス	4/27(月)～5/20(水)	
	82	玉泉洞糸満線	琉球バス	—	幹線補助路線
	83	玉泉洞線	琉球バス	4/27(月)～5/20(水)	
	191	城間線(一日橋経由)	東陽バス	4/27(月)～5/20(水)	
	309	結の街～大里線	沖縄バス	4/27(月)～5/20(水)	
	338	斎場御嶽線	東陽バス	4/27(月)～5/20(水)	
	339	南城～結の街線	沖縄バス	4/27(月)～5/20(水)	
Nバス		全線	沖縄バス	4/20(月)～5/20(水)	

2 Nバスの利用状況

2.1 Nバスの運行状況

●Nバスは、平日 15 系統、67 便、休日は 8 系統、54 便が運行されています。

表 2.Nバスの運行便数

系統名	平日	休日
A1：知念・佐敷一周線（右回り）	10 便	10 便
A2：知念・佐敷一周線（左回り）	11 便	11 便
A3：知念・佐敷一周線（右回り）つきしろ経由	1 便	—
B1：ニライカナイ橋・つきしろ線（右回り）	7 便	7 便
B2：ニライカナイ橋・つきしろ線（左回り）	6 便	6 便
C1：玉城・大里一周線（右回り）	10 便	10 便
C2：玉城・大里一周線（左回り）	8 便	8 便
D1：玉城東回り線	3 便	—
D2：玉城東回り線（向陽高校経由）	5 便	—
E：知念南回り線	1 便	1 便
F1：玉城西回り線	1 便	1 便
F2：玉城西回り線（玉城幼稚園経由）	1 便	—
F3：玉城一周線（玉泉洞経由）	1 便	—
G：向陽高校線（大里経由）	1 便	—
H：知念高校線（大里経由）	1 便	—
計	67 便	54 便

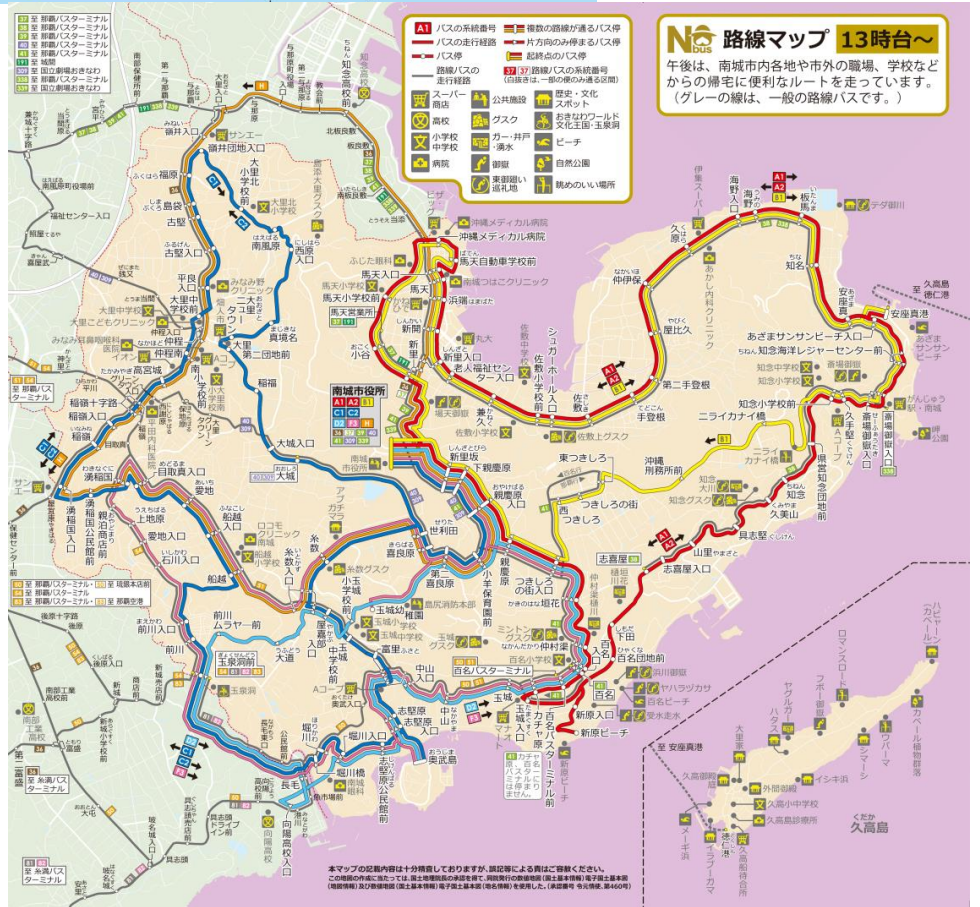


図-2.N バスの運行ルート

2.2 利用者数の推移

- Nバスは1日当たり300～400人前後の方が利用していましたが、新型コロナの影響により、2月以降は利用者数が減少、4月、5月の利用者数は122～141人/日まで減少しました。

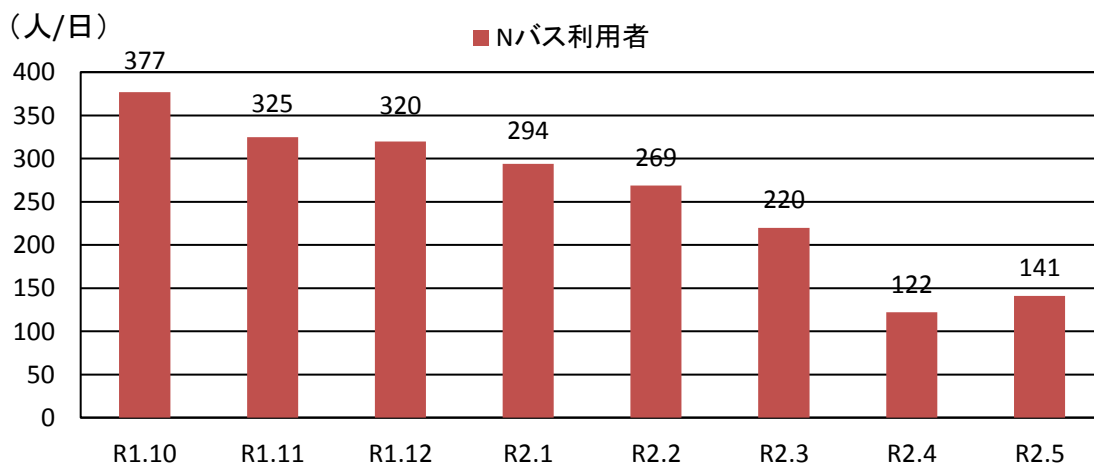


図-3.Nバスの利用者数の推移

2.3 券種別利用者数の推移

- 券種別の利用者数は、回数券利用が最も多く、小学生と大人の回数券利用が多くなっています。
- 大人の回数券利用は増加しています。
- 新型コロナの影響で利用者が減少しており、特に、児童・生徒の回数券利用が大幅に減少しています。

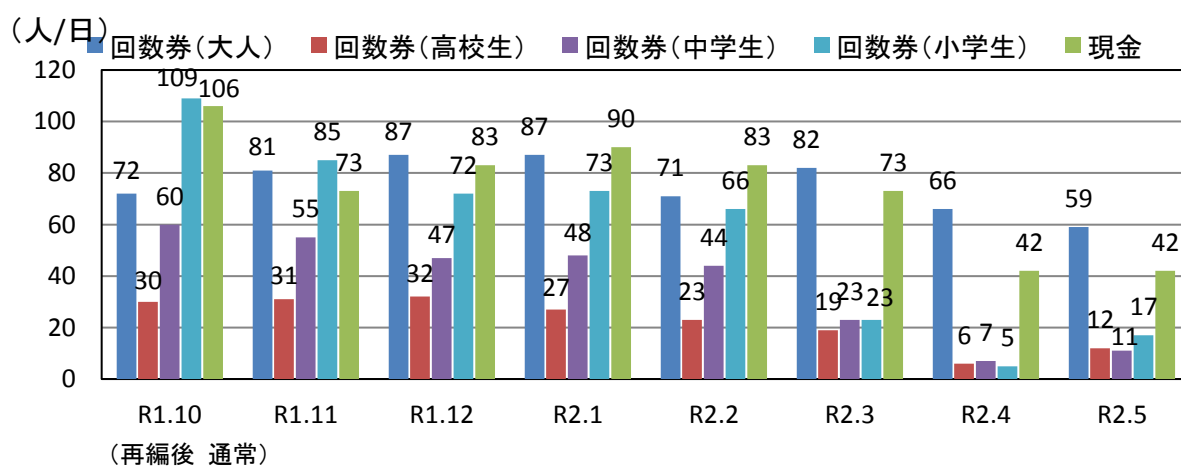


図-4.Nバスの券種別利用者数の推移

2.4 曜日別利用者数の推移

- 曜日別の利用者数は、平日は 400 人前後、土曜日は 170～200 人、日祝日は 120～140 人が利用しています。
- 小中高校生の回数券利用が多いこともあり、土曜日と日祝日の利用者数は平日の半分以下と少なくなっています。

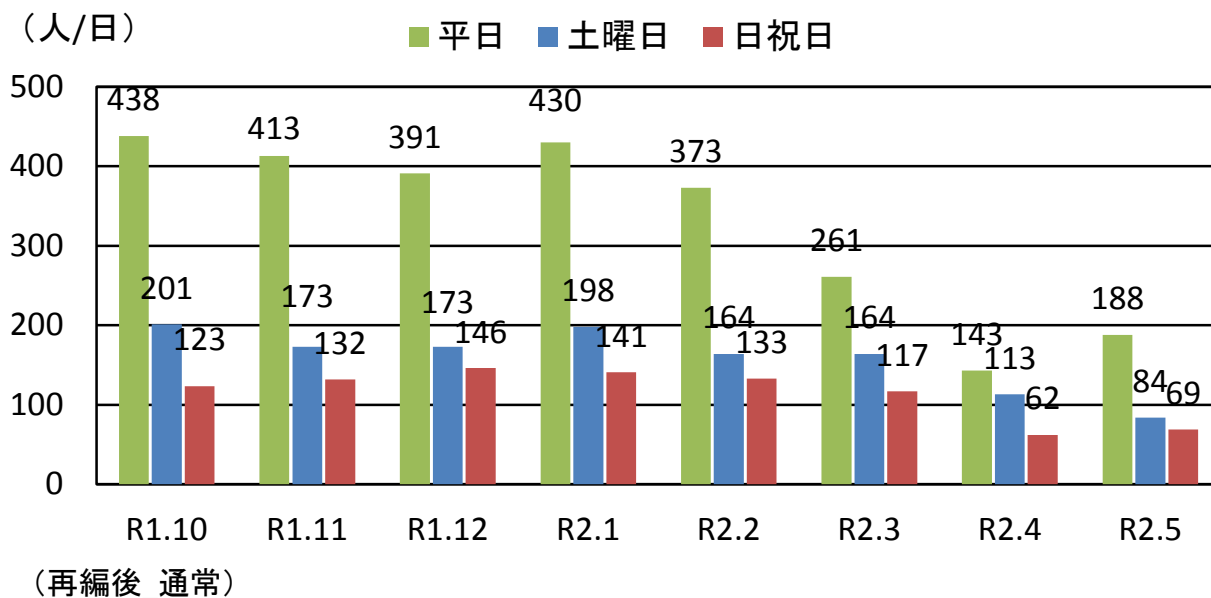


図-5.曜日別利用者数の推移

2.5 おでかけなんじいの運行・利用状況

(1)運行形態

- 令和元年 10 月の再編以降、おでかけなんじいの運行エリアは南城市内のみとなり、また、運賃は 75 歳未満が 500 円、75 歳以上が 200 円になっており、再編後は回数券が廃止されています。
- また、令和元年 12 月より、おでかけなんじいは、5 人乗り車両で運行しています。

表 3.現在の「おでかけなんじい」の運行形態

項目	内容	備考
名称	おでかけなんじい	
デマンドバスの運行範囲	久高島を除く南城市全域及び	再編前は向陽高校まで運行
利用対象	南城市を訪れる観光客及び南城市民(年齢制限なし)	
利用料金	75 歳未満は一人一律、1 回 500 円 75 歳以上は一人一律、1 回 200 円 (未就学児は無料)	再編前は一人 1 回 300 円(未就学児無料)、回数券あり
運行形態	ドア to ドア方式の区域運行 (フルデマンド)	
運行曜日	平日・休日(土日祝)の毎日 ※12/31~1/3 は除く	
運行時間帯・運行便数	●8~20 時(8 時台~19 時台の 1 時間ごとに運行) ●平日 9 時台~18 時台、土曜日の 11~15 時台は 3 台/時運行 ●その他の時間帯は 2 台/時運行	再編前は、土曜日 16 時台は 3 台/時で運行
運行車両台数	最大 3 台(12 月より 5 人乗り車両)	令和元年 11 月以前は 10 人乗り
利用方法	観光客は登録不要。南城市民は登録制で、利用したい便の 30 分前までに電話にて予約。ただし、8 時台は前日までの予約が必要。	

表 4.「おでかけなんじい」の運行台数

曜日	時間帯											
	8 時	9 時	10 時	11 時	12 時	13 時	14 時	15 時	16 時	17 時	18 時	19 時
平日	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2
土曜日	2	2	2	3	3	3	3	3	2	2	2	2
日祝日	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2



(2)運行便数

- 運行便数は再編前と再編後のどちらも概ね 30 便/日ほどの運行となっています。
- 新型コロナの影響を受けた令和 2 年 2 月以降は 27 便へとやや減少しています。

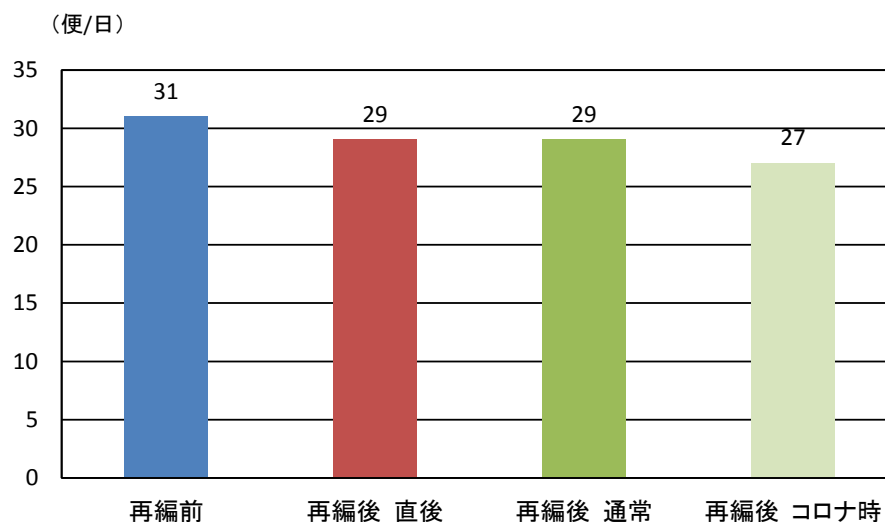
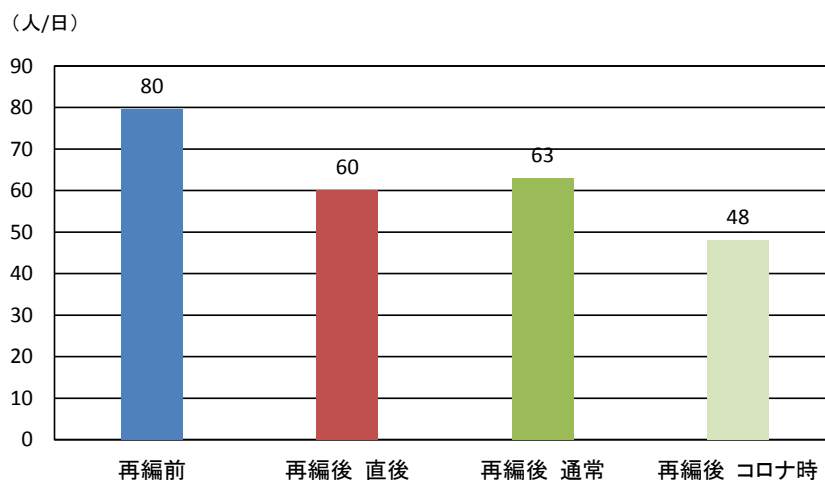


図-6.「おでかけなんじい」の運行便数の推移

再編前:H31.4.1~R1.9.30
 再編後_直後:R1.10.1~R1.10.22
 再編後_通常:R1.10.23~R2.1.31
 再編後_コロナ時:R2.2.1~R2.5.31

(3)利用者数

- 1日当たりの平均利用者数は、再編前は 80 人/日となっています。
- 再編後の平均利用者数は再編直後の N バスの無料運行期間で 60 人/日、N バス無料運行期間終了後の通常期間で 63 人/日となっており、利用者数が 17 人/日 (21%) 減少しています。
- 令和 2 年 2 月以降は新型コロナの影響により平均利用者数は 48 人/日に減少しています。



再編前:H31.4.1~R1.9.30
 再編後_直後:R1.10.1~R1.10.22
 再編後_通常:R1.10.23~R2.1.31
 再編後_コロナ時:R2.2.1~R2.5.31

図-7.「おでかけなんじい」の利用者数の推移

(4)曜日別の利用状況

- 再編前後の利用状況をみると、平日は87.5人/日から71.3人/日へと16.2人/日減少、土曜日は70.9人/日から57.5人/日へと13.4人/日減少、日祝日は59.4人/日から36.9人/日へと22.5人/日減少しています。
- 日祝日での減少が多く、利用者数は平日の約半数となっています。
- 令和2年2月以降は利用者が大きく減少しており、特に、日祝日は26.4人/日と少なくなっています。

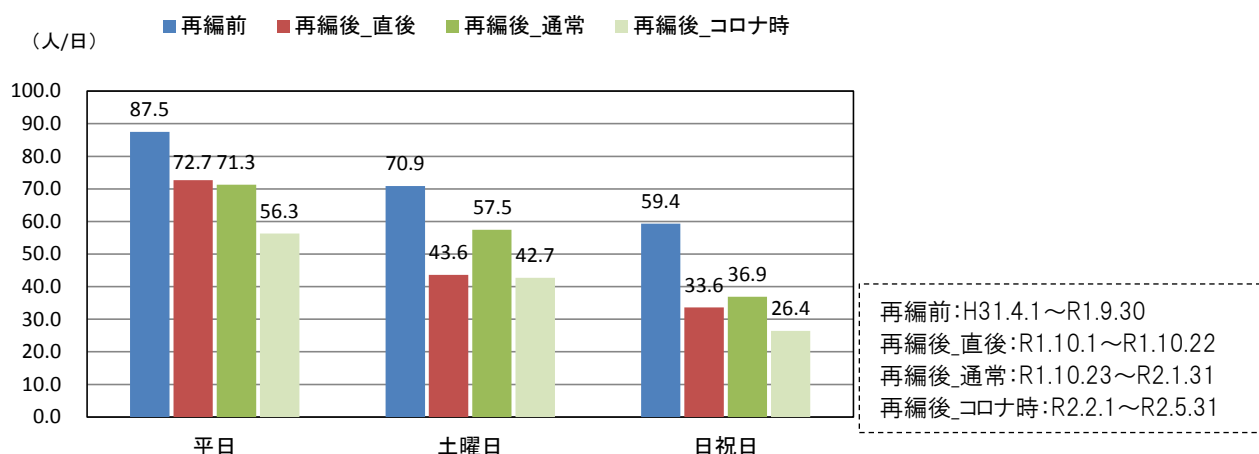


図-8.曜日別の「おでかけなんじい」の利用者数

(5)曜日別時間帯別の利用状況（再編後）

- 土曜日、日祝日の8時台、18時台、19時台は平均利用者数が3.0人/h以下と少なくなっています。

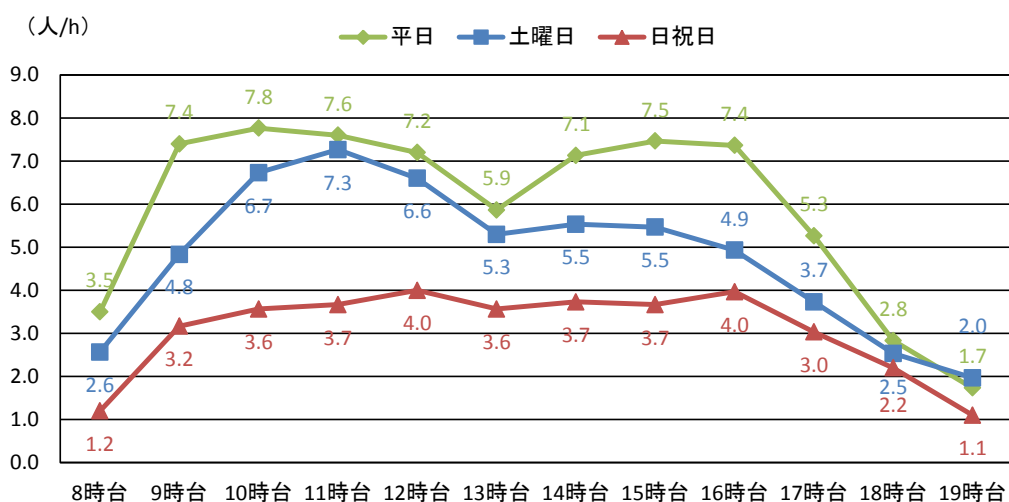


図-9.曜日別時間帯別の利用状況

(6)性別の構成

- 再編前後で比較すると、男性の割合が19%から23%へと4ポイント増加しています。
- なお、令和2年2月以降は男性の割合が26%とさらに増加しています。

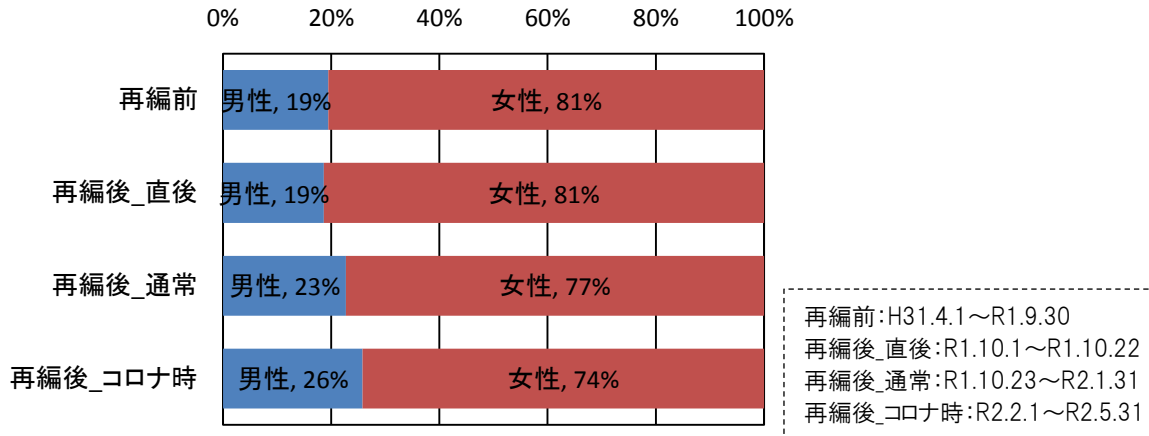


図-10.利用者の性別の推移

(7)年齢構成

- 再編後における利用者の年齢構成は、「80~84歳」が33%、「75~79歳」が30%、「85歳～」が12%と高齢者の利用が多く、75歳以上が全体の75%を占めています。
- 再編前後の75歳以上の利用者数は32人/日から45人/日へと13人/日（41%）増加しています。
- 一方、74歳以下の利用者数は40人/日から16人/日へと24人/日（60%）減少しており、「おでかけなんじい」からNバスにシフトしている状況がうかがえます。

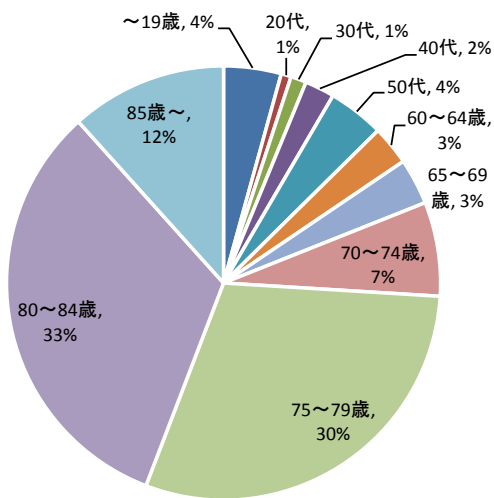


図-11.利用者の年代(再編後_通常)

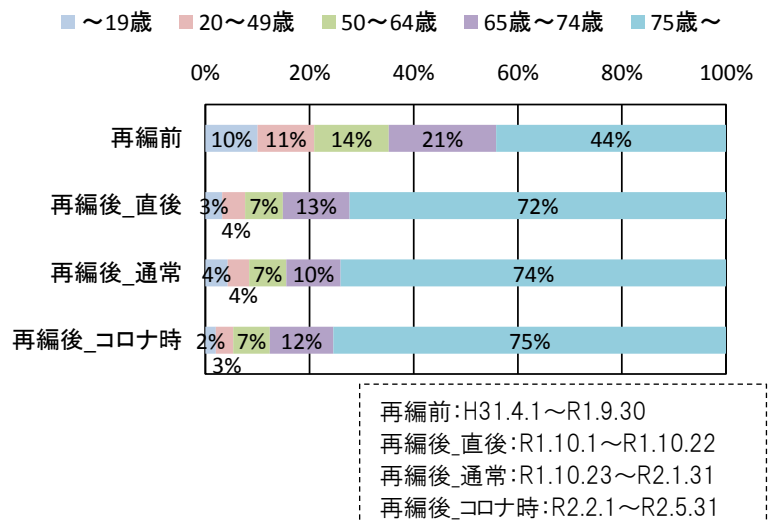


図-12.利用者の年代の推移

(8)市民と観光客

- 再編後の市民と観光客の構成比は、市民 97%、観光客 3%となっています。
- 観光客の利用は再編前の 5.3 人/日から、再編後は 2.2 人/日へと半減しています。
- 令和 2 年 2 月以降は 1.2 人/日に減少、さらに 4 月は 11 人/月、5 月は 2 人/月へと激減しています。

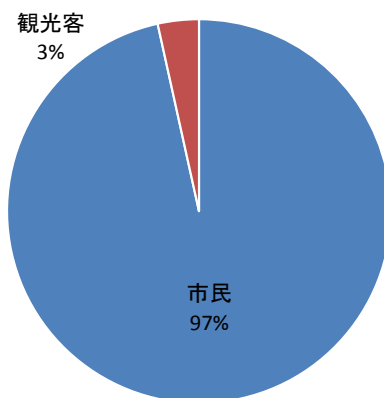
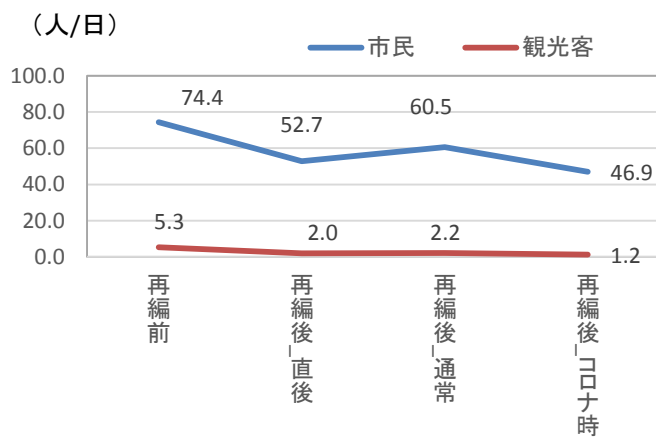


図-13.市民と観光客の構成比(再編後)



再編前:H31.4.1~R1.9.30
 再編後_直後:R1.10.1~R1.10.22
 再編後_通常:R1.10.23~R2.1.31
 再編後_コロナ時:R2.2.1~R2.5.31

図-14.市民と観光客の利用者数の推移

2.6 再編後の利用状況のまとめ

- 再編により、「おでかけなんじい」の利用者数は17人/日減少したものの、新たに運行開始したNバスに320～380人利用しており、南城市内の公共交通利用者は大幅に増加しています。
- 特に74歳以下で、「おでかけなんじい」から「Nバス」への転換が顕著で、再編前後で74歳以下の「おでかけなんじい」の利用者数は6割減少しています。
- Nバスは、小中高生の回数券での利用が多く、登下校で多く利用されています。
- 日祝日で「おでかけなんじい」の利用者の減少が大きく、利用者数が平日の半数にとどまっています。
- 沖縄県で新型コロナ患者が確認された2月以降、Nバス、おでかけなんじいの利用者数はともに減少しており、特に4月、5月は両者あわせて160～180人/日と、再編後の通常時の半分以下の利用となっています。

表 5.再編後の利用状況のまとめ

項目	内容
利用者数	<ul style="list-style-type: none"> ●Nバスを1日平均320～380人が利用 ●「おでかけなんじい」の利用者数は17人減少、利用者数は1日平均約60人
曜日別/時間帯別の利用状況	<ul style="list-style-type: none"> ●Nバスは、回数券利用が多く、平日の利用者400人前後に対し、土曜日、日祝日の利用者数は平日の半分以下と少ない。 ●「おでかけなんじい」は、日祝日の利用者が大幅に減少、利用者数は平日の約半分の37人にとどまる。 ●「おでかけなんじい」は、土曜日、日祝日は8時台、18時台、19時台の利用者数が3.0人/h以下と少ない。
性別の構成	<ul style="list-style-type: none"> ●「おでかけなんじい」は再編後、男性の利用割合が4ポイント増加したものの、全体に占める割合は23%にすぎず、依然として女性の利用が非常に多い。
年齢構成	<ul style="list-style-type: none"> ●「おでかけなんじい」の74歳以下の利用は6割減少、一方、75歳以上は4割増加しており、その結果、75歳以上が利用者の75%を占めるようになった。
市民と観光客の利用	<ul style="list-style-type: none"> ●「おでかけなんじい」は観光客の利用が少なく、再編前の5.5人/日から再編後は2.2人/日へと半減している。